

## 令和6年4月臨時記者会見

### 【説明】

#### 〔01\_生駒市立病院の医師会入会〕

**市長** 本日4月9日に生駒市立病院は、生駒市地区医師会及び生駒市医師会に入会しましたので、ご報告します。令和4年3月29日に正式に医師会への入会申請をしておりましたが、医師会内でも様々なご意見がありすぐには承認いただけない状況でした。その後これまでの病院の実績や経営状況の改善等を評価いただき今回入会したものです。病院の具体的な取組・実績としては、まず、救急患者の積極的な受入れ対応で、令和5年度では3,163件、同時に応需率も94%と両方とも市内では非常に高くなっています。また、新型コロナウイルス感染症の対応についても、早い段階から入院患者を受け入れるとともに、ワクチンの接種、発熱外来等の対応についても県内でもかなり早い段階からリーダーシップをとって積極的に対応してまいりました。働き方改革等で分娩ができる病院が減ってきている中で、市内で安心して出産できる環境を整備し、分娩件数も伸びております。さらに、令和6年2月9日に日本医療機能評価機構に「病院機能評価」の認定という、質の高い医療を提供していることを第三者的にも評価していただきました。また、経営の収支についても、令和2年度から単年度黒字化となり病院の経営体質も安定しております。

医師会に入会してからの取組としては、1点目は、災害対策として避難所での救護所の支援や市内医療機関との連携を強化します。2点目は、医師会に所属する医療機関との診療や入院について相互の連携を強化するとともに、市立病院の検査機器や設備を地域の医療機関に積極的に活用していただきたいと考えています。3点目は、高齢者等の在宅医療を受けている患者の病状等が急変した際、生駒市立病院で円滑に受け入れができる連携体制をさらに強化します。

市立病院は、本年6月に10周年を迎えますが、この間でコロナ対応を経て、医師会、医療関係者ともより市民にも信頼され、医療だけではなく、介護福祉そしてまちづくり全般に力を注げるような病院に大きく成長を遂げたと考えており、この時期に医師会に入会を出来たことは非常に良いタイミングだと思っております。医師会への加入で、今後、医師会、医師会に所属する病院、診療所の皆さんと市民のために、より具体的な事業をどう進めていくのかということが大切で、市立病院にも、生駒市全体を考えた医療、そして介護福祉やまちづくり全体を意識しながらの医療活動、病院経営を進めていただきたいと思っております。

**病院長** この度、生駒市長、生駒市地区医師会及び生駒市医師会会長をはじめ様々な方のご尽力により、医師会に入会でき、本当にありがとうございました。

当院は、開院以来、主に安定した救急医療の展開、日本の将来を背負って立つ分野である産科小児科の充実、そして高齢者医療も含めた地域の医療をしっかりと支えるというコンセプトで取り組んでまいりました。

これまで力不足の点もありましたが、コロナ対応を通して、一般病院ではなかなか出来ないことを公立病院として携わるということを経験し、それによって皆さんの信頼を得る中で、医師会の方でも今後連携していこうという大きな力になったのではないかと考えています。

今後、医療は大きな変革が来ると考えています。今まで個人の病気を治すという医療が中心の医療界でしたが、今後地震など大災害が発生した場合、災害医療では1病院、医者1人が出来ることには限界があります。今回医師会に入ったことで、普段からもっと地域の病院、地域の医師の先生と交流を図ることによって、新しい災害医療の役割を担っていけるような、もっと垣根を越えた地域医療が出来ればと考えています。

そういう意味では、今回医師会に入会して、皆が一つになって地域医療を展開し、この地域を守るといいスタートに立てたのかなと思うと同時に、能登半島地震などを経験し、災害というものに皆さんの目が向いているこの時期に、医師会側と一緒に手を取り合えるということは、本当に喜びであり、災害に対して市の方針もしっかり私達が認識しながら取り組みたいと思っています。

## 【 質疑応答 】

**記者** 今回医師会に入れたのは、コロナ禍での市立病院の働きが大きかったということですか。

**市長** はい、そう考えています。

**記者** 市立病院の地域の医療機関との紹介率はどれくらいですか。また、今後の目標値は。

**病院事務長** 約 30%です。傾向としては微増しています。今後は 40～45%を目指しています。紹介状がなければ診療しない大病院では紹介率は高いですが、市立病院は断らない病院として紹介状がなくても診療しますので、今後はあまり伸びないと考えています。

**市長** 令和5年の4月から6年1月までの診療所から市立病院への紹介率は、34.7%、逆紹介率が13.8%です。生駒市病院事業計画では、紹介率は40%、逆紹介率は25%を目指という目標がありますので、それに比べるとまだ不十分ですので今後伸ばしていきたいと考えています。

**記者** 今後医師会と具体的にどう連携していきますか。

**病院事務長** 現在も始まっていますが、市立病院の検査機器等の共同利用です。今後、医師会の先生方が市立病院で患者を診療するような新しい医療の取組も目指していきたいと考えています。

**市長** 普段からの交流があれば災害時での市立病院の機器活用などの医療連携もスムーズにいくと思います。

**記者** 今回の医師会加入により市立病院の提携医療機関はどうなりますか。

**市長** 令和6年1月31日現在で、医療連携登録医は67施設の82名、協力医療機関連携施設は66施設です。今後の目標としては、生駒市病院事業計画の中では、令和6年度中に医療連携登録医が70施設、協力医療機関連携施設を68としています。

**記者** 今回の加入に対して、医師会はどう思われていますか。

**市長** 医師会からは、医師会、生駒市、市立病院の三者のコミュニケーションを今まで以上にしっかり取ってほしい、行政として必要な事項はきちんと市立病院に伝えていただきたい、今回医師会に入っただくことにより具体的な連携がしっかり進むことを期待しています、というメッセージをいただいています。

**記者** 全国で徳洲会の病院はいくつありますか。医師会の加入状況は。

**病院事務長** 全国で76ありますが、その内61病院が加入しており、本市が61番目となります。

**記者** 開設以来9年医師会に入れなかった理由は何ですか。

**病院長** 市立病院側が医師会加入の基準に達していなかったからで、今回加入出来たのは前述のとおり、コロナ禍での対応、救急患者の受入れ実績などが認められたこと、また、現会長にご尽力いただき、

いっしょに進めていこうと思っていただいた点だと考えています。

**市長**　今まで市と医師会の連携事業の実績を積み重ねてまいりましたが、お互いの信頼関係を高められたことも要因であると考えています。

(その他の質問)

なし。

(了)